

# JAバンク茨城県信連 SDGsレポート 【2025】



JAバンク茨城県信連は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

サステナブル経営に関する取組み方針	P.1
-------------------	-----

---

SDGs重点取組事項	P.2
------------	-----

---

取組実績報告	P.3
--------	-----

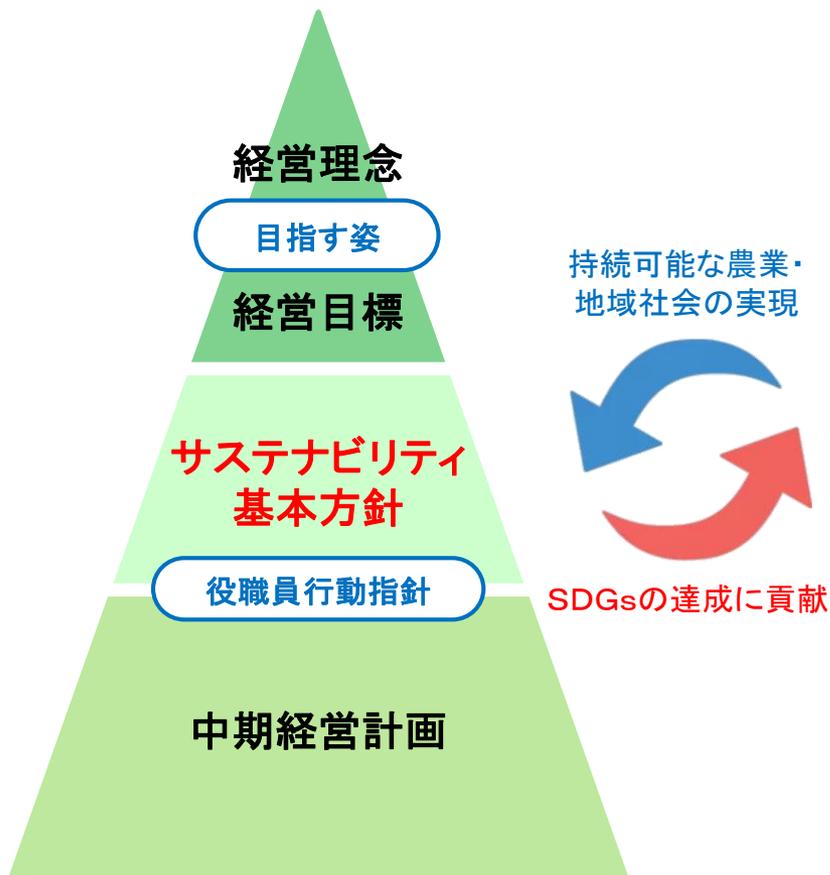
---

1. 持続可能な農業・地域社会の実現	P.3
農業者の経営課題解決	P.3～4
ライフプランサポート	P.5
情報発信・社会貢献活動	P.6
2. 環境の負荷軽減	P.7
ESG投融資への取組み	P.7
CO2排出量削減	P.7
みどりの食料システム戦略に関する取組み	P.7
3. 職員確保・育成とエンゲージメント向上	P.8
人材育成の取組み	P.8
会内環境整備	P.8
ボランティアサークル活動	P.8～9

# サステナブル経営に関する取組み方針

当会は、経営理念に基づく事業活動を通じて、持続可能な農業・地域社会の実現を目指しており、合わせて国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献できるよう、SDGsに対する基本的な取組方針として「サステナビリティ基本方針」を策定し、当会の取組みとサステナブル経営の一体性を高めながら、SDGsの達成に向けた取組みを進めていきます。

## 【経営理念・経営方針体系図】



## 【SDGs】



## ■ サステナブル経営に関する取組み方針

サステナビリティ基本方針

[https://www.jabank-ibaraki.or.jp/shinren/wp-content/uploads/SDGs\\_houshin.pdf](https://www.jabank-ibaraki.or.jp/shinren/wp-content/uploads/SDGs_houshin.pdf)

ESG投融资方針

[https://www.jabank-ibaraki.or.jp/shinren/wp-content/uploads/SDGs\\_ESGhoushin.pdf](https://www.jabank-ibaraki.or.jp/shinren/wp-content/uploads/SDGs_ESGhoushin.pdf)

# SDGs 重点取組事項

当会は、サステナビリティ基本方針に基づき、当会事業活動のうち、主として取り組むべきSDGs重点課題について「SDGs重点取組事項」として設定し、持続可能な農業と地域社会の実現を目指します。



重点課題	主に該当するSDGs項目	2024年度主な取組事項
<p>持続可能な農業・地域社会の実現</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 農業者の経営課題解決</li> <li>➢ ライフプランサポート</li> <li>➢ 情報発信, 社会貢献活動</li> </ul>
<p>環境の負荷軽減</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ESG投融資への取組み</li> <li>➢ CO2排出量削減に向けた取組み</li> <li>➢ みどりの食料システム戦略に関する取組み</li> </ul>
<p>人材の確保・育成強化とエンゲージメント向上</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 人材育成への取組み</li> <li>➢ 会内環境整備</li> <li>➢ ボランティアサークル活動</li> </ul>

## 1. 持続可能な農業・地域社会の実現



### 農業者の経営課題解決

#### ■ 農業担い手のニーズに応えるための態勢整備

当会は、農業担い手の経営をサポートするため、農業担い手金融リーダーを県内JAに設置し、農家組合員宅や農業法人等への訪問活動を通じて、経営相談に対応しています。(2025年4月1日現在、17JA、57名)

2024年度は、信用部門と営農・経済部門との連携促進に取り組み、農業者への訪問活動を通じた相談体制の強化により、担い手の抱える経営課題の解決と、農業所得の向上のためソリューションを提案する「担い手コンサルティング」に取り組みました。

#### ■ JA営農・経済事業の成長・効率化

農業所得の増大と、JA営農・経済事業の成長・効率化による採算性確保の実現を図る取組みとして、県域施策【「JAグループ茨城 営農経済事業マスタープラン」の更なる実践にむけて】を策定し、2024年度は4JAに対し、JA茨城県中央会・全農茨城県本部と協働した一体的なサポートを実践に取り組みました。

#### ■ 農業者への金融支援

当会および県内JAは各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金等の制度資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営をサポートしています。

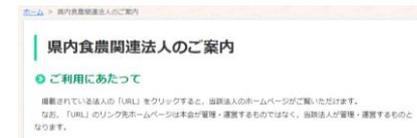
長期の資金ニーズに応える「農業近代化資金」や、認定農業者を対象に迅速かつ低利に資金を融通する「新認定農業者育成特別資金」のほか、多様化する農業者の資金ニーズに対応するため、設備資金と運転資金の両方に対応できる「アグリマイティー資金」等を取り扱っています。

また、農業者支援として、JAグループ茨城・農林中金と連携して各種助成事業を実施しています。



## ■ 農業者のPR支援

農業法人をはじめとする県内食農関連企業の認知度向上・取引拡大を図るため、当会ホームページ内に「県内食農関連法人のご案内」ページを2023年3月に開設し、2025年6月末現在、27先を掲載しています。



## ■ 融資取引先等へのビジネスマッチング支援

農業生産法人の拡販ニーズと、県内小売店等における「茨城県産加工品」の調達ニーズを受け、商談機会の提供に取り組みました。

また、食農関連企業に対し、金融取引のみならず非金融取引ニーズに応じたサービスの提供に努め、食と農をつなぐビジネスマッチング(農産物加工品の紹介等)にも取り組みました。



## ■ 新規需要米等の生産拡大に向けた取組み

県内JA(一部除く)では、農業者が飼料用米をはじめとした新規需要米等の生産に安心して取り組めるよう、水田活用の直接支払交付金等が交付されるまでの運転資金として「JA交付金等つなぎ資金」を取り扱っています。

当会では、農業者の負担軽減のため、JAグループ茨城と連携して、当資金に対する利子助成を実施しています。



## ライフプランサポート

### ■事業承継・相続相談サービス

JAグループ茨城では、JA組合員・利用者の相続相談ニーズに対応するため、相続に精通している士業(税理士・弁護士等)を紹介する制度を設立しています。

当制度では、主に相続税(シミュレーション, 対策, 申告), 遺言書, 生前贈与, 相続トラブル等にかかる相談に対応しています。

### ■「JAバンク茨城年金友の会グラウンド・ゴルフ交流大会」の開催

県内各JA年金友の会(年金受給者で構成)で組織する「JAバンク茨城年金友の会」では、2024年10月24日に「第18回JAバンク茨城年金友の会グラウンド・ゴルフ交流大会」を鉾田市・いこいの村潤沼で開催し、県内各地より460名(16JA)が参加しました。

また、プレー終了後には、「ニセ電話詐欺の現状と被害防止策」について茨城県警の現役警察官による講演を行いました。

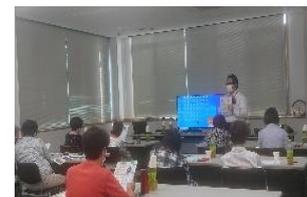
### ■年金相談会の開催

年金受給(予定)者への情報提供と相談活動として、社会保険労務士および当会年金専任担当者による無料年金相談会を延べ131回開催し、複雑な年金の仕組みについてのご相談、各種手続きをお手伝いしました。

### ■JAスマホ教室の開催

組合員のくらしの利便性向上、非対面チャネルを活用したJAと組合員とのコミュニケーションの促進に向けて、スマホ教室を開催し、スマートフォンの基本的な使い方や、JAバンクアプリ・JAネットバンク(JAバンクアプリ プラス)について案内しました。

また、近年社会問題となっている特殊詐欺や不正利用への対策も併せて案内しました。



# 取組み実績報告

## 情報発信, 社会貢献活動

### ■JAバンク茨城公式Instagram

JAバンク茨城では、公式Instagramを開設しています。

JAマイカーローン、教育ローン等のおすすめ金融商品やキャンペーンの案内、JAバンク茨城で開催した行事イベントについて定期的に投稿を行っています。

2024年度は、各種キャンペーンやプロスポーツチームの冠試合などのイベント告知、そして、県内にあるJA直売所の紹介動画を投稿しました。



### ■プロスポーツチームとのパートナー契約

JAグループ茨城では、県産農畜産物のブランド向上、地産地消の浸透・促進等を目的に、プロサッカーチームJ1「鹿島アントラーズ」、J2「水戸ホーリーホック」およびプロバスケットボールチームB1「茨城ロボッツ」とパートナー契約を結んでいます。

ホームゲームまたは冠試合時に、県産農畜産物の抽選や来場者プレゼントの実施、県内JA・関係組織による飲食・販売ブースの出店といった様々な取組みにより、PR活動を展開しています。



### ■「JAバンク食農教育応援事業」への取組み

JAバンクによる食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもたちの農業に対する理解の深耕を図り、農業ファンの拡大と地域の発展に貢献することを目的に、食農教育・環境教育・金融経済教育を基本テーマとする教材本を作成しています。

この教材本は県内459校の小学5年生を対象に、県内各JAから34,145冊を無償配布し、社会科・理科・総合学習のなかで広く活用されています。



### ■子ども食堂応援定期貯金

地域の子どもたちの成長に貢献する取組みとして、当会および県内JAで、県内の子ども食堂に寄付を行う定期貯金を取り扱いました。

募集総額100億円に対し、174億円の取り扱い実績となり、助成金200万円を認定NPO法人茨城センター・コモンズを通じて、県内18団体の子ども食堂へ助成しました。



## 2. 環境負荷軽減



### ESG投融資への取組み

サステナビリティ基本方針に基づき、当会投融資における環境等への配慮に関する方針や気候変動への影響が大きい事業・セクターに対する投融資方針を定めた『ESG投融資方針』を設定するとともに、2024～2027年度までにESG投融資の新規実行累計目標額150億円に設定しました。

2024年度の新規実行額は87億円で、進捗率は58.0%です。

### CO2排出量削減に向けた取組み

当会では、環境・気候変動対応にかかる指標として、2030年度のCO2排出量を2013年度対比△46%とする目標を設定しました。

(2024年度:2013年度比△28.6%)

主な取組み内容として、当会業務におけるデジタル化を推し進め、Smart HR(給与明細等のWEB化)の導入や経費管理のシステム化など、業務の多くを電子化・電子保存するペーパーレス化に取り組んでいます。

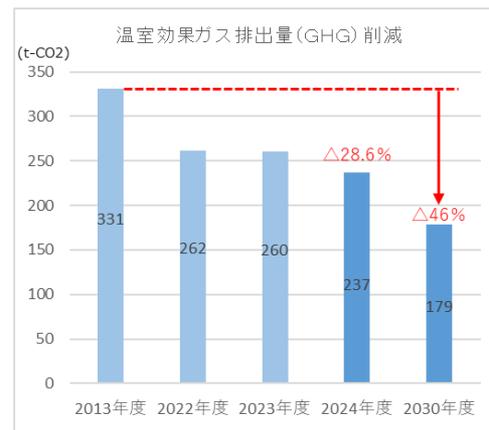
また、電力量消費の取組みとして、LED照明化など、より環境に配慮した省エネ・節電の取組みを進めるとともに、社会環境の変化等を踏まえ、軽装化(ノーネクタイ、ノー上着)を通年実施しております。

なお、公用車については、ハイブリット車へ順次切り替えており、2024年度は3台を切り替えました。(ハイブリット車数:5台/23台)

### みどりの食料システム戦略に関する取組み

国は、生産性の向上と環境への配慮を両立した持続可能な農業を実現するため「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

当会では、この取組を支援するため、2024年6月より、茨城県の「いばらきみどり認定」を取得した農業者に対し、独自に利子補給を行う「いばらきみどり認定利子補給制度」を開始しています。



## 3. 人材の確保・育成とエンゲージメント向上



### 人材育成の取組み

当会職員を大切な「人財」として捉え、職員の能力や経験、意欲を高めることで、組織全体の価値も高められるよう、人的資本経営に取り組んでいます。

そのため、計画的かつ適正な要員の採用を行うほか、信連教育体系および部署別職員研修計画による人材育成に取り組んでいます。

### 会内環境整備

働き方改革の実践として、業務見直し、残業時間削減、男性育休制度取得の奨励のほか、継続雇用制度や給与制度の見直し等により、人事制度の見直しと再構築に取り組んでいます。

### ボランティアサークル活動

当会では、地域に支えられて事業展開ができることを再確認し、地域社会に還元・貢献していくことを目的として「JAバンク茨城県信連ボランティアサークル」を運営しています。

当サークルは、全役職員参加型事業として2018年度より活動しており、以下の活動等を通じて地域活動に積極的に参加しています。

なお、当会は地球環境に配慮した取組みを積極的に行う事業所として、茨城県に登録する「茨城県エコ事業所登録制度」に申請し、2008年11月10日に「AAA」の登録認定を受けています。



#### ■「フードバンク茨城」への食料品提供・仕分け作業

フードバンク茨城が主催する子ども応援プロジェクトの趣旨に賛同し、食に困るお子様のいる世帯向けに、食材等を持ち寄り、7月中旬および12月中旬にフードバンク茨城牛久本部、水戸支部へ提供しました。

また、毎月フードバンク茨城水戸支部に出向き、寄付で集まった食料品の仕分け作業等のお手伝いをしました。



## ボランティアサークル活動

### ■ 桜川水系クリーン作戦による清掃活動

水戸市が主催する「桜川水系クリーン作戦」に参加し、桜川沿いのごみ拾いを実施しました。



### ■ ふるさと共創事業への取組み支援

「JAなめがたしおさい」にて実施されている休耕地を活用した管内小学生向け収穫体験に参加し、食農教育や金融教育を交えた〇×クイズを企画実践しました。



### ■ 農業ボランティアとしての援農作業

JAやさと「やさと菜苑」へ農業ボランティアとして参加し、収穫作業のお手伝いをしました。

